

## 採用願書 入力上の注意

採用願書については、以下の注意事項をよく読み、正確に記入すること。

### 1 出願者区分

この項目は、選考種別とは別のものです。「新卒」、「教職」、「民間等」、「既卒」の4種類のうち、該当するものを選び記入すること。

- 「新卒」は、平成31年3月に大学・大学院等を卒業する見込みの者。
- 「教職」は、出願時に、国公立の教員（臨時的任用・非常勤も含む）として勤務している者。
- 「民間等」は、出願時に、教職以外の継続的な勤務経験（アルバイト等は除く）のある者。（出願時に国公立の実習助手、寄宿舍指導員の職に就いている場合は「民間等」を選ぶこと。）
- 「既卒」は、過年度（平成30年3月以前）の卒業者で、上記「教職」、「民間等」に当てはまらない者。（「栄養教諭」で出願する際、出願時に公立学校の学校栄養職員の職に就いている場合は「既卒」を選ぶこと。）

### 2 受験校種・職

- 「小一般」「小地域気仙沼」「小地域東部」「小特支」「小英語」「中 中高 高一般」「中 中高 高特支」「養護 栄養」の当てはまるいずれかを記入すること。
- 

### 3 受験教科(科目)

- 小学校に出願する者は「小学校男子(ボール)」「小学校男子(マット)」「小学校女子(ボール)」「小学校女子(マット)」のいずれかを記入すること。
- 中学校及び高等学校に出願する者は受験教科(科目)を記入すること。
- 中・高保健体育に出願する者は、「保体男」又は「保体女」と記入すること。
- 高等学校の地理歴史、理科、工業に出願する者は、筆記試験1（専門教養）の専門分野の選択問題の科目を選択し記入すること。
- 高等学校の工業（建築）は募集を行わないので注意すること。
- 音楽は第2次選考の実技（選択A・選択B）から選択すること。

### 4 保健体育種目選択

- 保健体育の実技選択はこの欄に記入すること。
- 保健体育は「球技選択」（バスケットボール・バレーボール）、「武道種目」（柔道・剣道）からそれぞれ1つ選択すること。

## 5 選考種別

この項目には、希望する選考種別を選んで記入すること。

(選考種別ごとの詳細は選考要項において確認すること)

選考要項での選考種別名 ○第1次選考内容	採用願書へ 記入する名 称	選考要項Ⅱの(2)一般選考の 出願資格に加えて必要な要件
<b>一般選考</b> ○適性検査 ○筆記試験1 (専門教養) ○筆記試験2 (教養)	<b>一般選考</b>	—
<b>教職経験者特別選考</b> ○適性検査 ○筆記試験1 (専門教養)	<b>教職経験者 特別選考</b>	<p>①平成25年4月1日から平成30年5月10日(出願時以前5年間)までに、宮城県内・仙台市内の国公立学校で常勤講師、代替養護教諭又は代替栄養教諭としての経験が通算24月以上ある者で、<u>出願時に宮城県内・仙台市内の国公立学校の常勤講師(注1)、非常勤講師(注1)、実習助手、寄宿舍指導員、代替養護教諭、代替栄養教諭、代替実習助手又は代替寄宿舍指導員のいずれかとして勤務している者。(休業等の者を除く)</u></p> <p>または、</p> <p>②出願時に学校教育法第1条に定められた学校(注2)の校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、養護教諭又は栄養教諭に継続して24月以上勤務している者。(休業等の者を除く)</p> <p>(注1) 常勤講師の中には、宮城県内の市町村が小・中学校で臨時的任用をしている教育職員(採用条件として教員の免許状の所有を定め、勤務時間が1週あたり38時間45分以上の者)を含みます。また、非常勤講師については、採用条件として教員の免許状の所有を定めているものとします。</p> <p>(注2) 「出願時に学校教育法第1条に定められた学校」の本務教員は、受験予定の学校種と同一の学校種であること。例えば、現在小学校に勤務している本務教員が、中学校区分に出願することはできません。</p>
<b>障害者特別選考</b> ○第1次選考内容は一般選考と同様	<b>障害者 特別選考</b>	<p>①身体障害者手帳の交付を受け、その障害の程度が1級から6級までの者。</p> <p>かつ、</p> <p>②自力による通勤及び職務遂行が可能な者。</p>

### ※注意事項

- 教職経験者特別選考に該当する者が、筆記試験2(教養)で出願する場合は、「一般選考」と記入すること。

## 6 配慮申請の有無

- 受験上の配慮が必要な場合（障害者特別選考該当者以外でも配慮が必要な場合を含む）は「有」と記入し、別添の配慮事項申出書を提出すること。
- その他は「無」と記入すること。

## 7 東京会場受験希望の有無

- 栄養教諭A及び障害者特別選考を除いて、第1次選考については東京会場においても実施する。東京会場受験を希望する場合は、採用願書の所定の欄に「有」、希望が無い場合であっても空欄にせず、「無」と記入すること。

8 特別支援学校の採用希望の有無は、第2次選考でも確認するが、出願時において、各校種で特別支援学校への採用を希望する場合には「有」、それ以外の場合には空欄にせず、「無」と記入すること。小学校の特別支援学校枠以外の出願者であっても「無」とは限らない。

9 受験番号は、受付後に事務局で記入するので記入しないこと。

10 氏名、フリガナ、性別、現住所等は、履歴書と同一のものを記入すること。

11 年齢は、出願時の満年齢ではなく、平成31年3月31日現在のものを記入すること。

12 日本国籍の有無は、「有」か「無」のいずれかを必ず記入すること。

## 13 学歴

- 大学コード及び学部・学科コードを選んだ上で、学校名及び学部・学科名を正式名称で記入すること。
- 大学院については「大学等（2）」の欄に記入すること。
- 中途退学の場合は「○年○月中退」と記入すること。

## 14 免許状

- 受験校種・職の免許状の種類を最初に記入すること。
- 同一教科の免許状を2種類以上取得（取得見込を含む）している者は、最上級の免許状のみ入力すること。ただし、取得見込の場合は両方記入すること。
- 旧免許状の「高一普」を所有している者は、「専修」を選択すること。
- 免許の有効期間の満了の日又は修了確認期限の年月日を必ず記入すること。

15 **研究科目卒業論文の題目**は、30字以内で簡潔に記入すること。

16 **得意な教科**は、受験教科(科目)以外で、得意な教科(科目)名を入力すること。

17 **所属した部・クラブ名**は、高等学校及び大学等で所属した部・クラブ名等を記入すること。特にない場合は空欄にせず、「特になし」と記入すること。

18 **その他の社会活動等**は、高等学校及び大学等で取り組んだボランティア等の社会的活動について、60字以内で簡潔に記入すること。中でも東日本大震災の被災地で行った学校教育への支援活動等があれば明記すること。特にない場合は空欄にせず、「特になし」と記入すること。

(記入例) ・〇〇町の被災地支援小学生科学教室にて、指導員ボランティアを行った。

(大学2～4年)

・年4回、介護施設 △△園へ訪問コンサート活動を行った。

(大学1, 2年)

## 19 取得資格等

- 司書教諭資格を取得している者は「司書教諭」を選択すること。
- 中学校英語及び高等学校英語を志願する場合は、有していることが望ましい該当する資格があれば、スコア等を記入すること。
- 高等学校水産を志願する場合は、「航海系」又は「食品系」の希望を記入すること。また、「航海系」の場合は、資格も記入すること。
- 上記以外の資格については、資格名の欄に内容がわかるように略記すること。
- 資格名の欄に記入しきれない場合には、添付書類の「履歴書」の「その他の取得免許・資格等」の欄に記入すること。

## 20 連絡先住所・電話

- 出願者名票(受験票)、採用願書、選考結果等はこの連絡先に郵送するので、郵便番号から正確に記入すること。
- 確実に連絡の取れる住所、電話番号を入力し、変更の際はすぐに連絡すること。